

2018年6月16日(土) 第58回岩手県立中央病院健康講座

認知症の人の世界を知ろう！

岩手県立中央病院
認知症ケアチーム
伊藤啓一郎(看護師)



認知症の人の困難、こんなある！？

- 預金通帳を、4回紛失して、4回再発行してもらった！
- 冷蔵庫の冷凍室から財布のに入った巾着が2個も出てきた！
- 真夏に厚手のセーターを着て出かける！
- 自分の家にいるのに、家に帰りますと言う！
- 昔と料理の味付けが変わった！
- 歯ブラシを渡しても歯を磨こうとしない！



認知症って？

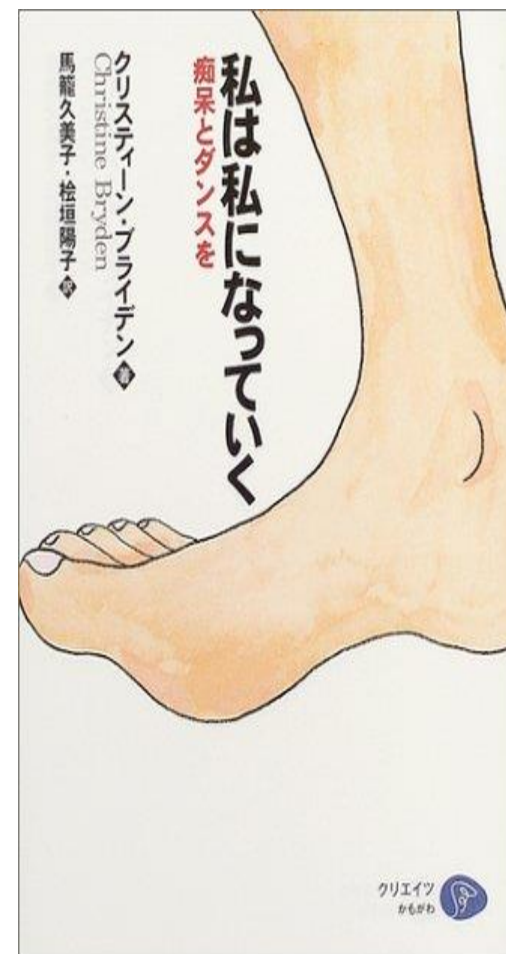
- 「認知症の人」＝「何も分からない人」
でしょうか？
- 「脳の病気」が原因で、記憶の問題は生じるが、
人格が無くなるわけではない。
- 自分の気持ちを言葉で適切に表現することができにくくなる。
- その人の感情や思いが無くなるわけではない。
- 言葉には出さないけれど、記憶が不確かになり、自分の事についての記憶も薄れていく不安や恐怖を強く感じている。



認知症者本人の言葉 クリスティーン・ブライデン

まるで頭の中に綿がつまっていて、
思考と感情に霧がかかっているような
感じがする。

つまり、焦点を定め、注意を払い、
自分のまわりで起きていること
についていくのが難しい。

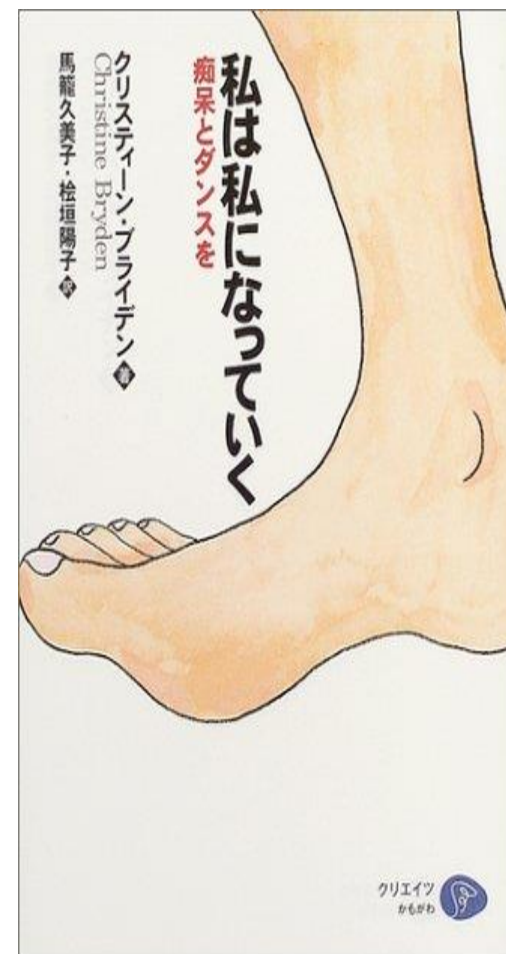


認知症者本人の言葉 クリスティーン・ブライデン

うろうろ歩き回ると、なぜか緊張が
ほぐれる。

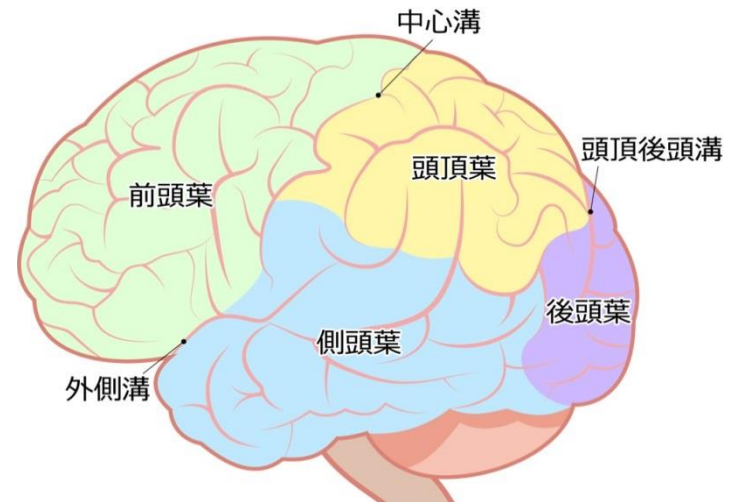
その動作によって、今日は何曜日だったか、
今何時なのか、自分が何をするつもりだった
のか。自分がわからない、という現実から、
気をそらすことができる。

自分が何をするつもりだったかは思い出せな
いが、歩き回ることによって自分が何かしているよ
うな気持ちになり、私の中に鬱屈しているエ
ネルギーと、何をするつもりだったのかわか
らないイライラが発散されるのだ。



認知症とは

いったん正常に発達した知能に何らかの原因で記憶・判断力などの障害が起き、**日常生活や社会生活がうまく行えなくなるような病的な状態**



中核症状

脳の萎縮、損傷や変性により生じる認知機能の障害

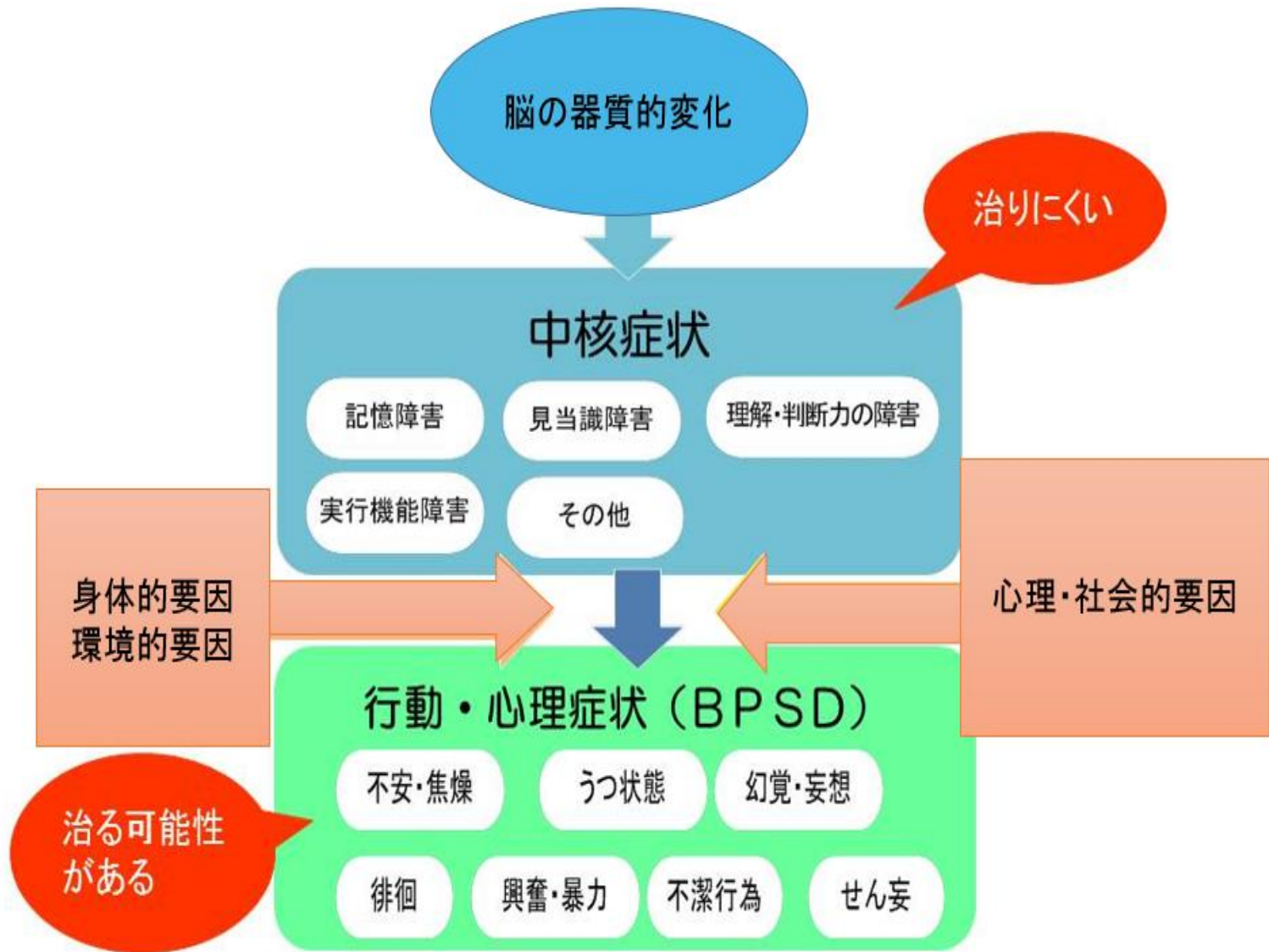
記憶障害	新しいことが覚えられなくなる
見当識障害	日にちや、時間、場所、人、状況が分からなくなる
実行機能障害	物事を行う時の段取りが分からなくなる
失行・失認・失語	日常生活における適切な行動・認識・発生ができなくなる
理解・判断力障害	物事の理解、判断ができにくくなる

BPSD

中核症状をベースに環境の影響を受けて生じる症状。
全ての認知症者にみられるわけではない

不安	物忘れや失敗が増えて生活に不安を感じている。自分の事や現在の場所が分からず、どうしていいのかわからない為に不安を感じている
抑うつ	些細なことで、失敗を繰り返すために気分が落ち込んでやる気が出ない。悲しい、寂しい、虚しいといった悲哀感に襲われている。
幻覚・妄想	似たような人を見たり、似たような声を聞くことでいない人の声が聞こえるように感じたり、実際にはない物が見えている
焦燥	苦痛や不快感等がおさまらず、イライラして落ち着かない
徘徊	どこに行けばいいのかわからない。自分の行きたい場所に行けず歩き回っている
暴言・暴力	自分の思いが否定されたり、説明がなく介助されたりすることにより、不安や恐怖を感じて大声をあげたり、介助に抵抗しようと行動している
昼夜リズム障害	加齢の影響や、昼間することがないため、日中に眠る傾向になり、夜間眠れなくなっている

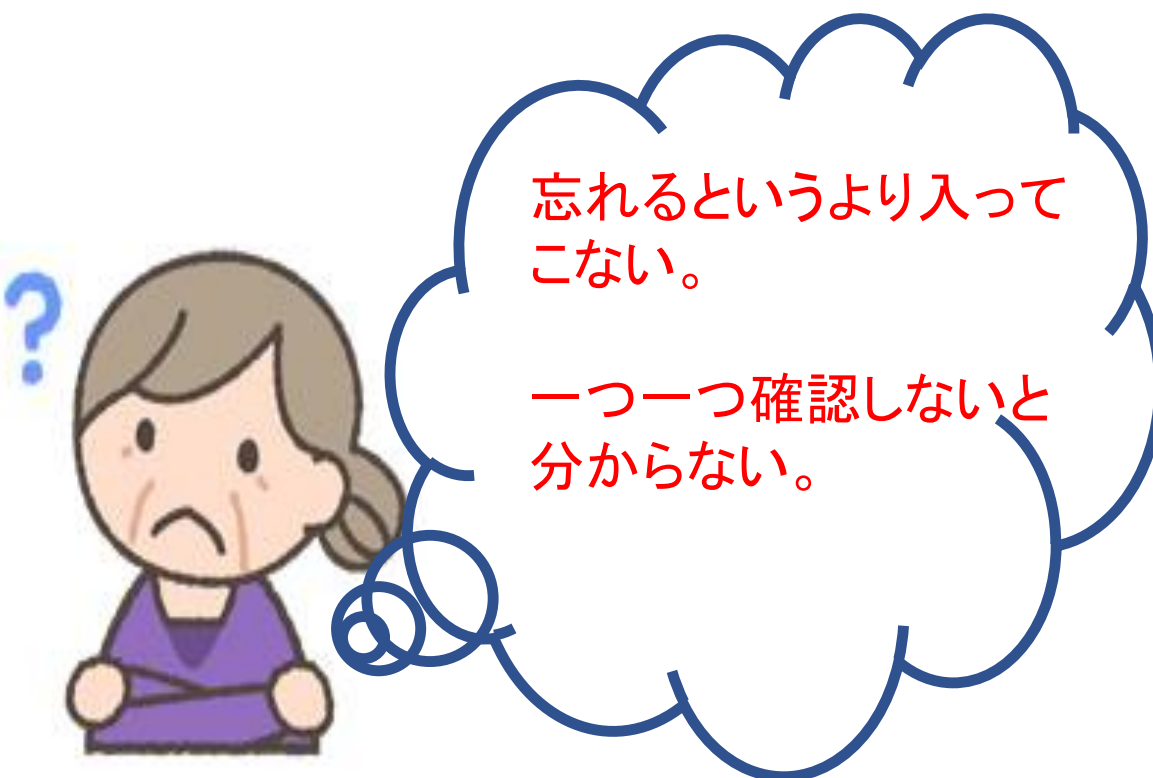
BPSDを引き起こす要因



認知症の世界 1

- 新しいことを覚えられない
- 数分前、数日前のことが思い出せない

記憶障害



忘れるというより入ってこない。

一つ一つ確認しないと分からない。

〈残る力〉即時記憶
(数秒～数分)

長期記憶

手続き記憶

認知症の世界 2

- 日時・曜日・季節が分からない
- 自分のいる場所が分からない
- 周囲に知っている人がいない

見当識障害



今はいつ？

ここはどこ？

あなたは誰？

- 予定を書いたカレンダーの横にデジタルの日付表示の時計を置く。
- さりげなく場所の確認をする。
- 「トイレ」などよく使う場所の案内表示をする。
- 話をする前に自己紹介をする。

認知症の世界 3


実行機能障害

- 物事の手順、一連の流れが分からない
- 台所仕事に時間がかかる
- 服薬管理ができなくなる

〈残る力〉一つ一つはこなせる。

単純なことはできる。

複雑なことも指示があればできる。




今まで何気なくできていたことができなくなる。

何かをするのに今まで以上に疲れる、イライラする

認知症の世界 4

失語・失認・失行

- 話す内容を間違ったり、決まった言葉を繰り返す
- 石鹼を食べ物だと思い食べてしまう
- 箸やスプーンをうまく使えなくなる



話したいことが浮かばない。

食べ物の区別が分からない。

どうやって食べたらいいのか分からない。

答えやすい言葉を選んで会話を
する。
表情から読み取って意思を確認
する。

正しく認識できるように分かり
やすく説明する
言葉で表示する。

箸やスプーンとお椀を手に持たせ
てみる。
目の前で箸やスプーンを使い
食事をする。

認知症の世界 5

理解・判断力の障害

- 車の運転時に道路を逆走してしまう。
- 「それを取って」と伝えても、何か分からない。
- 食事をさまざまなメニューのなかから選ぶことができない。



やることみんな
初めてのこと
ばかり、どうした
らいいのか分か
らない。

その人がわかる言葉で伝えたり、ひとつひとつ行動を促すなど援助をすることで混乱が少なくなる。

認知症の人を理解するための視点



さいごに

- 認知症の人は、不安・混乱・葛藤を抱えながら生活している。
- 認知症の人がとる行動の背景には、認知症だけではなく、その人なりのさまざまな理由がある。
- 認知症の人が本当に望む支援をするために、認知症の人が体験していることをイメージすることが大切。

認知症者本人の言葉

クリスティーン・ブライデン

「記憶に残るのは、あなたが何を言ったかではなく、どんな風に話したか、ということだ。」

「あなたの微笑み、笑い声、私たちに触れるあなたの手が、私たちに通じるものだ」

「共感することが私たちを癒してくれる。ただあるがままの私たちを愛してほしい」

「ただそばにいてくれればいい。私たちには言葉よりも、あなたがそばにいてくれること、私たちと思いをわかちあってくることが必要だ」

引用文献・参考文献

- クリスティーン・ブライデン,馬籠久美子・桧垣陽子訳:私は私になっていく 認知症とダンスを 改定新版,株式会社クリエイツかもがわ,2016.
- 認知症の看護・介護に役立つ よくわかるパーソン・センタード・ケア:鈴木みずえ,株式会社池田書店,2017.
- 認知症ケアガイドブック:有賀洋文,株式会社照林社,2016.
- 認知症の人々の看護:中島紀恵子,医歯薬出版株式会社,2017.

ご静聴ありがとうございました！

